

ご使用上の注意 (トイレ)

※メーカー取扱説明書より抜粋



! 水漏れが発生したときは、
止水栓を閉めて給水を止める
必ず守る ※付属の開閉工具をご使用ください



- 禁止** 便器には汚物・トイレットペーパー以外のものは流さないでください
◎便器が詰まり、汚水があふれて室内浸水の原因になります。
- 禁止** 一度に大量のトイレットペーパーを流さないでください
◎便器が詰まり、汚水があふれて室内浸水の原因になります。
- 禁止** 流せるトイレクリーナーを流さないでください
◎便器が詰まり、汚水があふれて室内浸水の原因になります。

分からない場合は必ず取扱説明書を見てね!



汚れの基礎知識

1 小水 (アンモニア) が原因のシミ

木質系の床で、便器の脇などにシミができた場合は、小水の中の「アンモニア」が原因と考えられます。こぼれた小水はすぐにふき取らないと、シミがどんどん広がります。

2 水の中の汚れが付着「水性の汚れ (水あか)」

■白色水性汚れ
水に含まれているカルシウムやマグネシウムが、水分が蒸発した後そのまま残った汚れです。水が付くとなくなっただけに見えますが、乾燥すると再び現れます。

■茶色水性汚れ
水が常に流れている所に発生しやすい汚れです。乾燥してこびりつくことはありませんので、こすると落ちやすいものです。

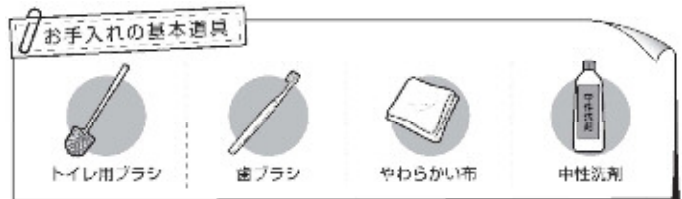
3 汚れを栄養源にするピンク色の「バクテリア」

便器の内側に付いたピンク色の汚れは、バクテリアが付いて繁殖したものです。栄養源となる汚れが付いたままにすると、さらに繁殖は加速します。

トイレのお手入れサイクルカレンダー

ピカピカの便器や便座で、イメージアップ
便器や便座をピカピカにしておくと、それだけで印象がワンランクアップします。

掃除をラクにするコツ
便座や便器の汚れ、結露や床にこぼれた小水などは、気がついたらサッとふき取る習慣をつけましょう。家族の協力も得て、気づいた人がその場で掃除をすることがポイントです。



	便器	ウォシュレット本体・ケースふた部	便座・便ふた	床
ふだん 使った後や、気がついたときにサッとでも、1日に1回と決めてでもOK。汚れをためないことを習慣にすれば、お掃除はもっと簡単になります。	水でぬらしたやわらかい布をよくしぼってふく 便器の内側を洗う	水でぬらしたやわらかい布をよくしぼってふく 電源プラグの刃などに付いたほこりをふき取る ノズルを水ぶきする 脱臭フィルターの汚れを取り除く リモコンのほこりをふき取る	水でぬらしたやわらかい布をよくしぼってふく 便座と便ふたのすき間の汚れをふき取る 便ふたは取りはずすことができます。	水でぬらしたやわらかい布をよくしぼってふく 中性洗剤でふいた後、水ぶきする
ていねい 汚れが気になりだしたら、いつもよりていねいに。月に1回程度が目安です。	水を流しながら、便器の内側を洗う			
さらにていねい 手の届きにくいところや時間のかかる場所も、半年に1回程度を目安に家族みんなでチャレンジしましょう。	給水フィルターのゴミを取る	給水フィルター付水抜栓のゴミを取る		